

# 令和2年度 島田市立北中学校 グランドデザイン

## 国・県・市の方針

国：「生きる力」の育成

- ・新しい時代を生きる資質・能力の育成
- ・社会に開かれた教育課程

県：「有徳の人」づくり

- ・未来を切り拓く人材育成
- ・魅力あふれる学校づくり
- ・「文武芸」のバランス

市：「夢育・知育」

- ・信頼される学校づくり
- ・「豊かな心、確かな学力、健康な体」の育成
- ・個に焦点を当てた授業

## 学校教育目標

### 目標を持ち、自ら高める

### めざす資質・能力

#### ○知識・技能

- ・問いや課題を見だし、考えを再構築する
- ・引き出し、新たな情報と組み合わせる

#### ○思考力・判断力・表現力

- ・自分で考え、判断し、表現・実行する
- ・協働し、伝え合い、考えを深める

#### ○学びに向かう力・人間性

- ・目標や見通しを持って、粘り強く続ける
- ・自己を振り返り、次の目標や課題を持つ

## 生徒の実態

### 【成長の姿】

- ・規律を守り、明るく落ち着いた態度で生活する
- ・温かな人間関係を築く
- ・協働や伝え合いを通して、自らの考えを深める
- ・他と協力しながら、自らの役割を果たす。

### 【高めたいこと】

- ・目標に向けて自ら取り組む
- ・自分の言葉で話したり、全体の場で表現したりする
- ・本や新聞などを読む習慣
- ・学力向上に繋げる学習習慣

## 学校経営目標

- 「授業改善」「学年経営」「特別活動」を主軸に、「めざす資質・能力」の育成を図る
- 生徒の実態を適切に捉え、改善を図りながら教育活動を推進する。CAPDサイクルの実現
- 学校の閉校と統合に向け、生徒主体の学校行事や生徒会活動等を実現する

## 授業改善

研修テーマ『学び合い、深く考える生徒』

- ・授業を通して、「各教科等の資質・能力」「めざす資質・能力」を育成する
- ・新学習指導要領に基づき、研修テーマの具現化に向けて、日常的に改善を図る
- ・生徒自身が目的や問いを持って課題解決を図るなど、生徒主体の学習を展開する

自己実現・自己評価・価値付け

## 自己肯定感

### 各機関・家庭・地域との連携

- ・教育目標や課題を共有し、連携・協力を得ながら教育活動の推進、課題解決を図る
- ・学習習慣や、文章を読む習慣の確立をめざし、家庭との連携を推進する
- ・学校の統合に向けて、生徒の実態を捉えながら、島一中との交流活動を推進する

## 学年経営

- ・目標に向けて取り組む経験を積み重ねる
- ・「総合的な学習の時間」を通して、社会に関心を持ち、主体性・問題解決力・表現力を育成する
- ・個のニーズや状況に応じた学習支援や課題対応を、迅速に、組織的に行う

## 特別活動

- ・学校の閉校に向けて、生徒主体の生徒会活動や学校行事等に取り組む
- ・「挨拶や集合」等、状況に合わせて判断し、実行する力を育む
- ・教師の指導の下に、生徒が主体的に取り組む部活動をめざす

## 教育活動の評価

- 「めざす資質・能力」が、生徒の姿として表れてきたと感じる 80 %
- 学習や学校生活での取組が、自らの成長や目標の実現につながっていると感じる 80 %